

理 由 書

都市計画道路 3・4・2 号金子開成和田河原線は、都市計画道路 3・4・3 号国道 255 号線を起点に大井町の中心部を通り、酒匂川で開成都市計画都市計画道路 3・4・2 号和田河原開成大井線に接続する延長約 1,500m の主要幹線道路で、県西地域の広域的な幹線道路網を形成する主要な路線の一つとなっています。

本路線は、本地域の利便性の向上や地域経済の活性化など、地域全体のまちづくりにおいて重要な役割を担う路線として、昭和 40 年に都市計画決定され、昭和 51 年及び平成 15 年に変更されています。

平成 26 年 3 月には、都市計画道路 3・3・1 号松田大井線（県道 711 号（小田原松田））との交差点から終点までの延長約 380m の区間が、和田河原開成大井線とともに供用開始され、酒匂川を渡る足柄大橋や報徳橋等の交通渋滞解消や防災機能の強化が図られたところであり、松田大井線など周辺道路の整備が着実に進められてきた今、本路線の整備の重要性はさらに高まっています。

本路線は、大井都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成 28 年 11 月）では、おおむね 10 年以内に整備することを予定している主要な施設とされています。また、おおい都市マスタープラン（平成 28 年 3 月）では、「(都)金子開成和田河原線は、本町と開成町、南足柄市との連携強化や新市街地の整備に大きな役割を果たすことから、未整備区間については、土地区画整理事業の進捗状況と合わせ早期完成をめざします。さらに、大井中央（土地区画整理事業）地区との連絡を考慮した道路ネットワークの形成を図ります。」としています。

さらに、大井町第 5 次総合計画であるおおいきらめきプラン（平成 28 年 3 月）では、大井町成長戦略として、「大井中央土地区画整理事業により、住宅地開発や町内最大の公園整備など、町の新たな顔となる中心市街地の形成を促進します。」とし、施策別計画として、「本町の新たな東西連絡道路となる都市計画道路金子開成和田河原線については、県などの関係機関と調整を図りながら、早期整備を促進します」としています。

本路線は JR 御殿場線を跨線橋形式で交差する計画であり、町内の南北方向の交通を担う地区幹線道路で平成 27 年 4 月に都市計画決定した大井中央地区土地区画整理事業の外周道路として新たに位置づけた町道 1-1 号線とは、接続できない計画となっています。

そこで、今回、大井中央地区の交通利便性を向上させるとともに、町内道路のネットワークの強化を図るために、本路線の JR 御殿場線との交差部の構造を地下化し、町道 1-1 号線と接続するように都市計画を変更するものです。